



## 活力あふれる共助社会

内閣府公益認定等委員会事務局  
課長補佐

**南山 智浩** MINAMIYAMA Tomohiro

平成 23年 4月 総務省採用  
同 行政管理局管理官付(特殊法人総括・独立行政法人総括)  
平成 24年 8月 内閣官房副長官補付  
併任 内閣府地方分権改革推進室  
平成 25年 7月 総務省行政管理局主査(行政通則法)  
平成 27年 7月 内閣官房内閣人事局服務・勤務時間係長  
平成 29年 7月 国土交通省総合政策局公共交通政策部参事官補佐  
令和 元年 7月 現職

### 民による公益の増進

令和元年の夏から、内閣府で、公益法人行政の担当をしています。

公益法人とは、公益の増進に重要な役割を果たす民間の団体です。現在、全国で9,500を超える法人が、地域社会の健全な発展や児童・青少年の健全な育成、高齢者の福祉の増進等の様々な分野で活動を行っており、公益法人が公益活動に充てる事業費用は約4.7兆円にのぼっています。

それぞれの公益法人の活動の背景には社会のニーズがあり、法人が「自立的」「自律的」に活動を行うなかで、社会課題の解決、公益の増進が日々はかられています。内閣府は、志を持つ法人に寄り添い、その活動が円滑に進むような土台を整える必要があります。審査や監督、意見交換の機会でも直接法人とやりとりをすることも多く、制度が実際に活用されている場面の近くで、その重要性について実感を持って業務を進めることができる点は、魅力の一つであると考えています。

### 公益法人のガバナンス

一方、公益的な活動を行い、税制優遇も受ける

法人として、公益法人が社会から求められる期待も高くなっているように感じます。一部の法人の不祥事に対する社会の厳しい視線もあり、将来を見据え、公益法人のガバナンスに関する検討も進んでいます。

社会の信頼のもと、自律した存在としての公益法人が、その能力を最大限発揮することができる環境とはどういったものか。検討に当たって、重要な視点だと考えています。

### 総務省で出来ること

入省以来、行政救済制度の抜本見直し、地方分権改革、公務員の働き方改革といった、想像力とバランス感覚、中長期的な視野が求められる業務に接する機会に恵まれました。総務省は「理想を追うべき省庁」、「社会情勢に応じて変化を続ける省庁」であると考えており、意識して仕事を進めるようにしてきました。

よく言われるように、個人の価値観が多様化し、社会のニーズも多岐にわたってきています。また、急激な速さで社会が変化をしています。行政部門に変化を求める声も大きく、「行政のあるべき姿を構築」する総務省においても、前例にとらわれない発想がより重要になってきていると実感しています。

引き続き、総務省の役割は大きく、総務省において出来ることは多いと考えています。皆さんとともに挑戦できる日を楽しみにしています。



公益法人との意見交換

私は現在、皆さんが歴史の授業で聞いたことがあるであろう「大化の改新」の舞台、明日香村で勤務しています。

明日香村は歴史的風土を守るため、法律により開発行為が制限されており、原則3階以上の建物を建てることができません。高層ビルが立ち並ぶ霞が関から、田園風景が広がる明日香村へ赴任し、何もかもが初めての経験をしています。

### 「飛鳥・藤原」を世界遺産へ

明日香村は、飛鳥時代と呼ばれる6世紀末から7世紀にかけて、都が営まれた地であり、近隣自治体と連携し「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」として世界遺産への登録を目指しています。

明日香村の資産は、直接見る事ができない地下遺構が多いため、歴史を体感できる解説・展示を行い、外国人観光客や若年層に向けた魅力発信に取り組んでいます。専門家や、国会議員の先生方等多くの方と意見交換を行い、若者の観点からどのようにしたら飛鳥地方に興味を持ち、足を運んでいただけるか、日々頭を悩ませているところです。

入省6年目にして、村長から直接課されるミッションの実現に向け戸惑うこともありますが、関係

機関と議論しながら、世界遺産登録に向けた海外へのPR、そして世界遺産登録後の魅力的なまちづくりに向けて実行していく日々やりがいを感じています。

### 新たな場所で新たな出会い

総務省では、エコカー減税制度の見直しや、マイナンバーを使用した情報連携の開始という全国に影響する様々な制度改正に携わりました。

国での政策立案に携わる際に、1年目赴任時の山梨県や、明日香村で出会った皆さんの顔を思い浮かべながら、制度づくりができることが総務省の強みです。新たな場所で、新たな人と出会い、元々興味関心のあった分野以外についても学ぶことができ、日々の成長を感じています。

プライベート面では同じ総務省の職員と結婚しました。お互い転勤族であることから将来への不安を抱えていましたが、ご配慮をいただき、夫婦で近隣自治体に赴任させていただくことができました。業務の繁忙度合いや通勤時間に応じて家事分担を変更し、お互いに助け合いながら暮らしています。

総務省ってなんか楽しそう！新しい世界を知り

たい！と感じたそのあなたに、総務省の門を叩いていただけると嬉しいです。



職場旅行で名古屋へ



夫と甘樫丘から明日香村を望む

## 日本の「飛鳥」から世界の「ASUKA」へ

明日香村参事

**榎田 祐子** MAKITA Yuko

平成 26年 4月 総務省自治行政局公務員部福利課  
8月 山梨県総務部市町村課  
平成 27年 4月 同 総務部財政課  
7月 総務省政治資金適正化委員会事務局  
平成 28年 1月 厚生労働省社会・援護局総務課簡素な給付措置支給業務室  
7月 総務省自治税務局都道府県税課  
平成 29年 4月 同 大臣官房個人番号企画室  
平成 30年 4月 同 自治行政局公務員部公務員課給与能率推進室  
平成 31年 4月 現職

